

令和6年2月

令和5年度 「学校生活アンケート」の集計結果とまとめ

調布市立第二小学校

校長 安藤 力也

保護者・地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和5年12月に保護者及び児童対象に実施した「令和5年度学校生活アンケート」の集計結果についてお知らせいたします。本年度も昨年度と同様にタブレットによる回答にて実施しました。ご回答へのご協力をいただき、ありがとうございます。自由記述の内容を含め、貴重なご意見として真摯に受け止めるとともに、保護者・児童ともにすべての項目におけるC及びD回答の数値を見逃さず、学校経営方針の柱である「自他尊重の精神」の涵養をめざしながら、学校運営・教育活動のさらなる改善に努めてまいります。

なお、今後、学校関係者評価委員会及び学校評議員の皆様のご意見や評価を踏まえ、「令和5年度調布市立第二小学校学校評価報告書」のまとめを行い、「令和5年度学校生活アンケート」集計結果と併せて、今年度末までにホームページにて報告いたします。ご覧くださいませようよろしくお願いいたします。

【「学校生活アンケート」(保護者)集計結果考察】

○対象：児童(472名)ごとの保護者へのアンケート【回答率56.6%(昨年度71.1%)】

A:とてもそう思う B:だいたいそう思う C:あまりそう思わない D:全然そう思わない E:よく分からない

昨年度に引き続き児童用タブレット端末を活用してアンケートを実施しました。回答率は昨年度を大きく下回っていることから、次年度に向けては学校ホームページや学校安全安心メールの活用も含めて、周知、説明の仕方について再度検討してまいります。

1 「学校は、子どもによく分かる授業の工夫を行っている。」

A+Bの回答が92%です。引き続き、学習指導要領が目指す『主体的、対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善、児童用タブレット端末をはじめとするICT機器活用の推進、基礎・基本的な学習内容の定着を図るための取組の工夫等を行い、子どもたちの「わかった」「できるようになった」を増やし、学ぶ楽しさを味わうことができる授業づくりをすすめてまいります。

2 「学校は、ICT機器の活用や子ども同士の学び合いを推進するなど、子どもの主体的な学びの実現に向けた授業づくりを進めている。」

A+Bが88%です。昨年度質問項目「学校は算数習熟度別少人数指導やチームティーチングによる授業など、個に応じた指導の工夫をしている。」から変更しました。主体的な学び手として子どもが中心となり学び合う授業づくりへの転換が求められています。ICT機器の効果的な活用、協働的な学びの推進を図りながら更なる授業改善に努めてまいります。

3 「学校は、日々の学習や「あゆみ」で適切な評価をし、子どもが意欲的に取り組む工夫をしている。」

A+Bの回答が91%です。これからも、子どもたち一人ひとりのよさ、努力の過程、成長の様子等をしっかりと見取り、価値付けながら、前向きに学習や学校生活に取り組めるよう、評価の工夫を継続します。肯定的評価は昨年度同様ですが、C+D回答4%であることを真摯に受け止め、適正な

評価の一層の推進に努めます。

4 「学校は、「二小スタンダード」を徹底し、授業規律を身に付けさせようとしている。」

A+B が 9 0 %です。引き続き、全職員が「二小スタンダード」について共通理解を図り、どの学級も授業規律 が整い、安心して学習できるように努めてまいります。

5 「学校は、子どもが「気持ちの良い挨拶をする」「目と心で話を聴く」「時間を守る」等、基本的な生活習慣を身に付けられるように適切な指導を行っている。」

A+B が 9 5 %です。あいさつの励行については重点的に取り組んでおります。地域やご家庭でもあいさつの大切さについて話題にしたいくとともに、引き続きすてきなあいさつがあふれる学校・地域となりますよう、保護者・地域の皆様にはお力添えいただきますようお願いいたします。

6 「学校は、交通安全や不審者対応・災害時対応等、安全指導の充実に努めている。」

A+B が 9 0 %です。職員が共通認識をもち、安全・安心な学校生活を送れるよう安全指導を徹底してまいりました。また、調布警察署と連携した不審者侵入対応研修会や対応訓練の実施や校舎内照明 LED 化カーブミラーの増設、校庭芝生や樹木の維持管理等、安全性を高めるための施設改善を図ってまいりました。引き続き、児童の安心・安全を最優先に考えながら教育活動を進めてまいります。

7 「学校は、清潔に心がけ、子どもたちのためによりよい生活環境づくりに努めている。」

A+B が 8 5 %です。(昨年度 9 1 %) 校舎内外の清掃や整備については継続的に行っているところではありますが、施設老朽化に伴う汚れや砂ぼこりの侵入等もあり、十分に行き届いているとは言えない現状もあります。結果を真摯に受け止め、生活環境のさらなる改善が児童の健康増進や学校生活上の安全安心につながるよう改善を図ってまいります

8 「学校は、体育授業の充実や各種の体育学習、校庭芝生の利活用等、子どもの体力向上に努めている。」

A+B が 9 6 %です。昨年度質問項目「学校は、体育授業の充実や各種の体育学習、各種のスポーツ教室、芝生やコンクリート部の運動絵の活用等、子供の体力向上に努めている。」から変更しました。本校では昨年度から3年間にわたり「自分も友達も大切にし、主体的・協働的な学びを実現していく体育学習」を研究主題に据え校内研究を進めてきました。研究を通して、児童が運動の特性に触れる楽しさや身体を動かす心地よさを味わう姿が見られ、研究成果が少しずつ表れてきています。一方で体力テスト調査結果ではほとんどの学年で男女ともに体力合計点が全国・東京都の平均値を下回っている現状があります。今後も本校の特色である校庭芝生を有効に活かしながら、体育授業や体育的活動の充実を図ることで、児童が運動の楽しさを味わい、主体的に運動に取り組めるようにするとともに運動の日常化につなげてまいります。

9 「学校は、学校図書館の活性化を図り、青葉週間や紅葉週間等、読書活動を推進している。」

A+B が 9 7 %です。今後も教員と学校図書司書とが連携し、学校図書館の利活用の推進、蔵書の充実、読書週間やブックメニュー等、本に親しむ環境づくりや取組の充実を図ってまいります。

10 「学校は、保健・給食その他の活動を通して、健康づくり・健康教育に努力している。」

A+B が 9 9 %です。引き続き、感染症拡大防止に向けた取組や保健指導や食育の充実を図りながら、子どもたちが安心・安全に生活できるよう健康づくり・健康教育に努力してまいります。

11 「学校は、運動会や学習発表会等の行事の充実を図り、子どもたちが目標をもって生活し、成長につながるよう取り組んでいる。」

A+B が 9 9 %です。昨年度質問項目「学校は、新型コロナウイルス感染症に対応しながら、運動会や学習発表会等の行事を工夫し、楽しい学校生活が送れるように努めている。」から変更しました。新型コロナウイルス五類移行を受けて、運動会や学習発表会（作品展）をはじめ、多くの学校

行事を実施することができました。今後も子どもたちの健康と安全を最優先に考えながら、学校行事が子どもたちの成長につながるようすすめてまいります。

12「学校は、体験的な学びの充実やたてわり活動、ふれあい月間の子どもたちの主体的な活動等を通して、豊かな心の育成に努めている。」

A+B が97%です。昨年度質問項目「学校は、人権尊重教育やたてわり活動、ふれあい月間の子どもたちの主体的な活動等を通して、豊かな心の育成に努めている。」から変更しました。本校では生きた知識や豊かな情操を育むために「本物との出会い」を大切に考え、外部人材の活用や交流学习等の体験的な活動の充実を図っています。また、特色ある教育活動の一つとして異学年交流「でたてわり班活動」では、思いやりの心を伝統的に育てる取組として大切にしてきました。各活動から児童の姿にその成果が表れていると感じております。ふれあい月間には「あいさつの励行」「いじめの防止」「安心安全な学校生活」等をテーマにした標語やポスター作りなどの児童の主体的な取組の充実につながっています。それぞれの取組を今後も大切に継続してまいります。

13「学校は、地域の人々や教材を活用し、地域と連携した教育活動を展開している。」

A+B が84%です。(前々年度76%・前年度82%)新型コロナウイルス五類移行を受け、外部人材の活用が進んだことと併せて、地域関係団体の皆様のお力添えにより実施できた取組が増えてきたことによるものと思います。今後とも、「地域とともに子どもを育てる」ために、地域関係の皆様にはお力添えをよろしく願いいたします。

14「学校は、授業参観や学校公開日等工夫し、学校を公開する機会を設けている。」

A+B が92%です。授業公開や学校行事については、実施方法を工夫し、保護者の皆様にご理解とご協力をいただきながら、保護者の皆様に子どもたちの学校生活の様子をご覧いただく機会を計画してまいりました。今後も子どもたちの学びの成果や生き生きと活躍する姿をご覧いただけるよう機会を作ってまいります。

15「学校は、学校だよりや学級だより、ホームページ、安全安心メール等で学校や子どもの様子等を分かりやすく伝えている。」

A+B が92%です。今年度も学校ホームページの更新に向けて、主に「学校生活の様子」について更新・配信してきました。また、安心・安全メールを活用し、必要に応じて迅速な情報提供に努めました。今後も取組を振り返り、改善・充実を図ってまいります。

16「子どもは楽しく学校生活を送っている。」

A+B が95%です。学校関係者評価委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、昨年度質問項目「学校は、子供や保護者・地域の願いに応えられるように努めている。」から変更しました。学校が楽しいと感じられること、子どもたちが安心できる居場所であること、そして何より毎日笑顔で過ごすことができることは私たちの願いです。「心のふるさと＝第二小学校」での生活が子どもたちにとってかけがえのない宝物となるよう、今後も改善に向けて努力を重ねてまいります。

【「学校生活アンケート」(児童) 集計結果考察】

○対象：全児童（472名）へのアンケート

A：とてもそう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：全然そう思わない E：よく分からない

昨年度より全児童を対象にした学校生活を振り返るアンケートを児童用タブレット端末を活用して実施することになりました。子どもたちの現況や思いを受け止め、今後の学校運営の改善に生かしてまいります。

<学習について>

・1「学校の授業がよくわかる。」・2「先生や友達の話をしっかり聞いている。」：A+Bが90%以上の回答となっていますが、1「学習理解」については昨年度から3%下回りました。また、3「授業中、自分の考えや友だちの考えをすすんで伝え合っている。」：80%（昨年度78%）となっています。子どもが中心となり、子どもたち同士が学び合う授業づくり（対話的な学び・協働的な学び）の実現に向けて、引き続き、子どもたち同士が主体的に学び合いながら、楽しく、そして、よくわかる授業づくりを目指して研鑽を深めてまいります。

<生活について>

- ・4「学校では、楽しく生活している。」・5「学校のきまりを守って生活している。」・9「健康や安全に気を付けて生活している。」：A+Bが90%以上の回答となっていることに比較し、6「先生や友達に、自分からすすんであいさつしている。」：昨年度と変わらず87%となっています。子どもたちのあいさつ励行に対する意識を高めることができるような新たな取組や地域・家庭と連携した取組の創出等について検討しながら、今後もあいさつの励行については重点的に取り組んでまいります。
- ・7「すすんで体を動かしたり、運動をしたりしている。」85%・8「すすんで読書をしている。」75%とA+B回答が昨年度を下回るとともに90%に届きませんでした。引き続き、運動量を確保し、運動の特性に触れる楽しさや喜びを味わうことができる体育授業の充実、校庭芝生を有効に活かしながら運動の日常化につなげる体育的活動の工夫などに取り組んでまいります。また、図書館教育の充実については教科等の学習と関連付けた学校図書館の利活用の推進、蔵書のさらなる充実、委員会活動と関連付けた読書週間やブックメニュー等の本に親しむ環境づくり等については課題ととらえて進めてまいります。

<豊かな心の育成>

- ・10「運動会や学習発表会等、行事では、めあてをもって取り組んでいる。」11「友達や下級生にやさしく接している。」・12「係や当番、委員会活動に積極的に取り組んでいる。」についてはA+B回答が90%を上回りました。本校の特色ある教育活動の一つである異学年交流「たて割り班活動」の取組を大切にするとともに、子どもたち一人ひとりが明確な目標をもち、努力を積み重ねるプロセスを大切にしながら達成感を味わい、子どもたちが行事を通して成長することができるよう、指導の工夫を継続してまいります。